

21-04-27

エリア版 MaaS の実現に向けて取り組みを推進します

名古屋鉄道は、名鉄グループ沿線・地域(愛知県・岐阜県中心)で日常にご利用いただけるお客さまを対象に、地域の交通・生活・観光サービスを繋ぎ、シームレスでストレスフリーな移動の実現を目指すエリア版 MaaS (Mobility as a Service) 構想を推進します。その取り組みの一環として、2022年3月にエリア版 MaaS アプリ「(仮称)新名鉄 Touch」の初期リリースを予定しています。

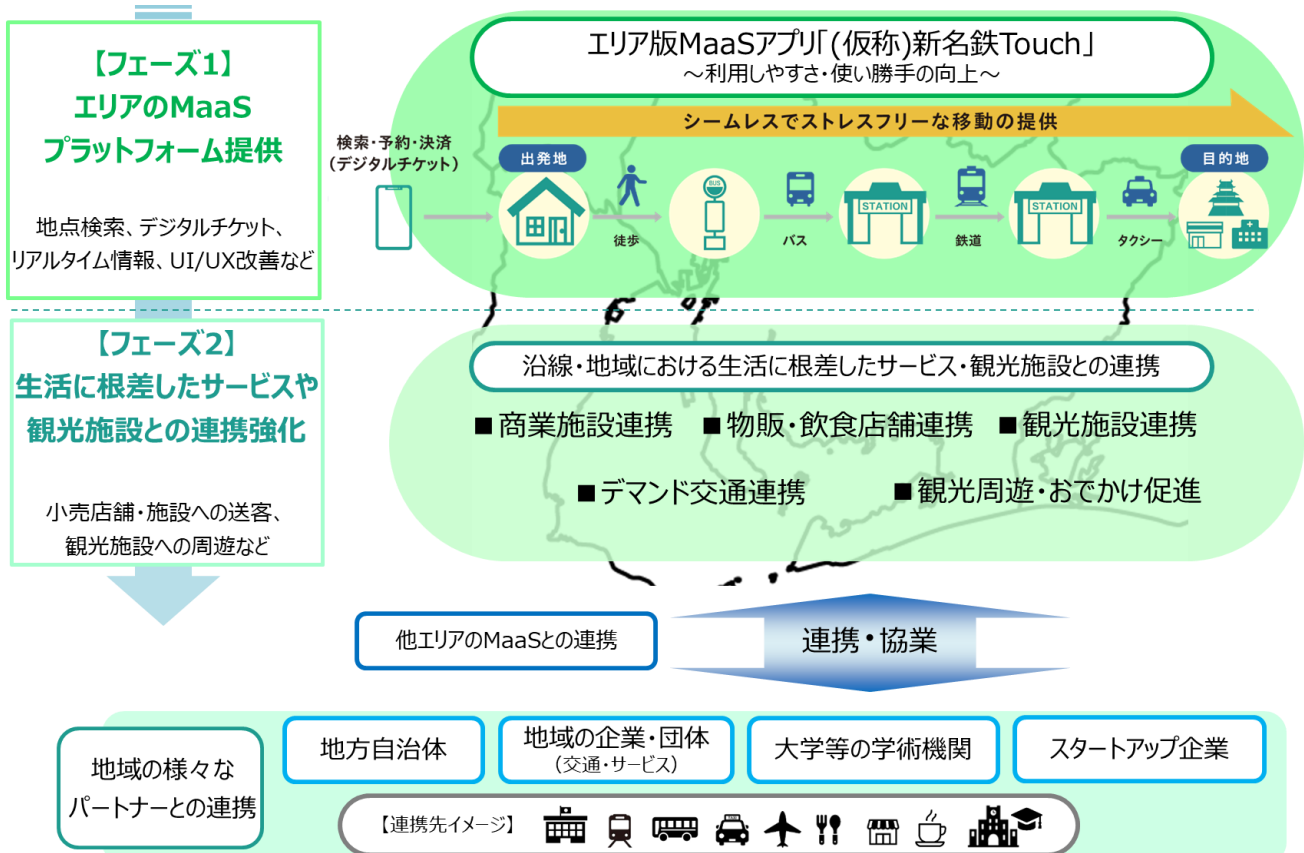
名鉄グループの考えるエリア版 MaaS 構想と、新アプリに実装予定の機能は下記の通りです。

記

1. エリア版 MaaS の概要

人口減少やデジタル社会の進展など取り巻く環境が激変している中で、デジタル技術を活用してさまざまな移動や生活サービスをシームレスに提供する MaaS を推進します。「地域価値の向上に努め、永く社会に貢献する」ことを「使命」とする当社では、全国網羅的なサービスではなく、愛知県・岐阜県を中心とした名鉄グループ沿線・地域(エリア)に根差した地域の交通・生活・観光サービスを繋ぎ、沿線・地域の活性化に取り組みます。

2. 名鉄グループの考えるエリア版 MaaS 構想イメージ



※本イメージは現時点での情報や想定に基づき構成しています。

【フェーズ 1】エリアの MaaS プラットフォーム提供

新しいアプリをリリースして実装機能の追加・増強を図ることにより、出発地から目的地までのシームレスでストレスフリーな移動を提供し、お客さまの利用しやすさ・使い勝手の向上を図るとともに、地域のさまざまなパートナーとの連携の基盤となるエリアの MaaS プラットフォームを構築します。

【フェーズ 2】生活に根差したサービスや観光施設との連携強化

地域のさまざまなパートナーとの連携の強化を図り、沿線・地域の生活に根差したサービスや観光施設との連携を推進します。具体的には名鉄グループ内にとどまらず、地域の企業・団体など多様なパートナーとの連携を強化し、地域の商業施設や物販・飲食店舗への送客促進、観光施設との連携による観光周遊促進、地域内交通との連携による高齢者をはじめとした地域の皆さまのおでかけ促進などの推進を目指します。

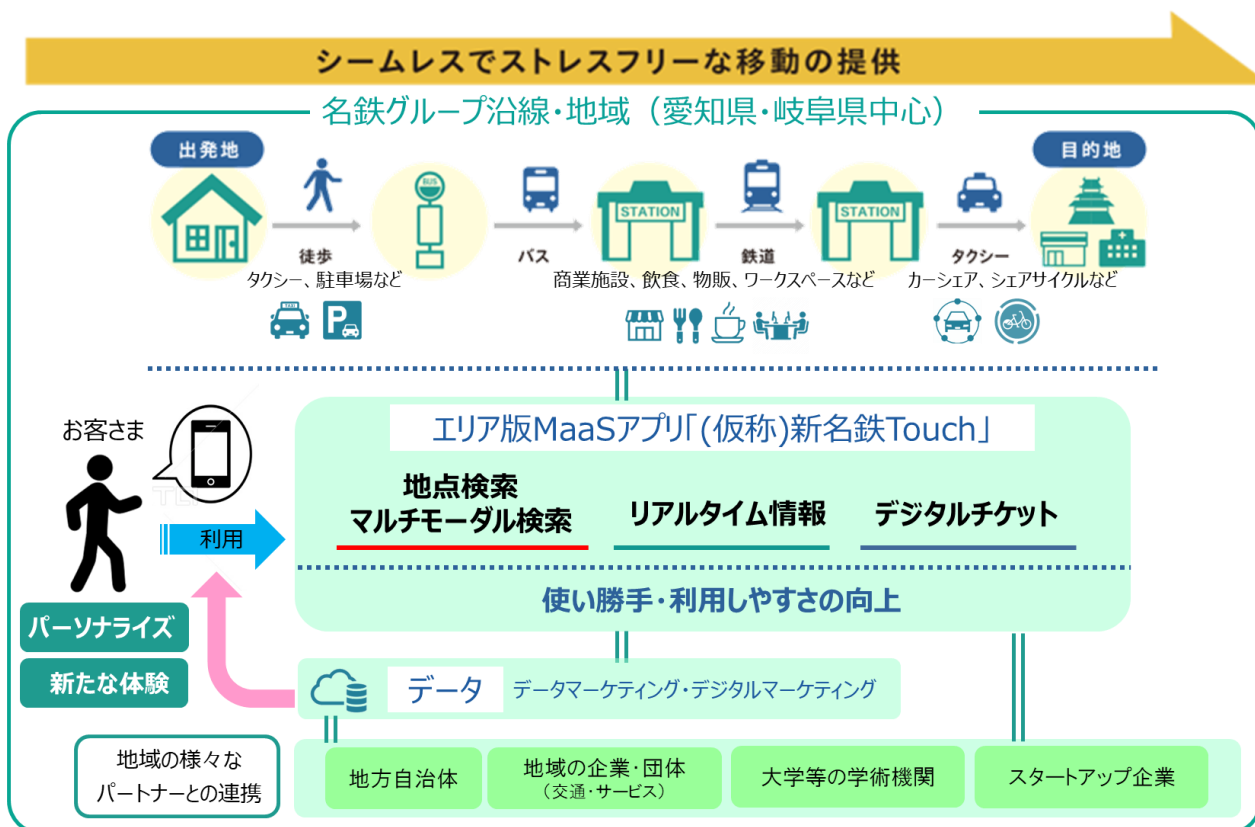
なお、将来的には、エリア全体の長期の価値向上を目指し、地域が抱える課題への対応や、新型輸送サービスとの連携、移動データの活用・連携を推進し、持続可能な社会の実現に貢献したいと考えています。このほか国内の他エリアの MaaS とも連携し、地域にお住まいのお客さまに加え、全国からのお客さまに対するサービスの提供を目指します。

3. エリア版 MaaS アプリ「(仮称)新名鉄 Touch」について

既存のアプリ「名鉄 Touch」をほぼ全面的にリニューアルし、以下の機能を実装予定です。

※新アプリの機能については現時点での情報や想定に基づき記載しております。

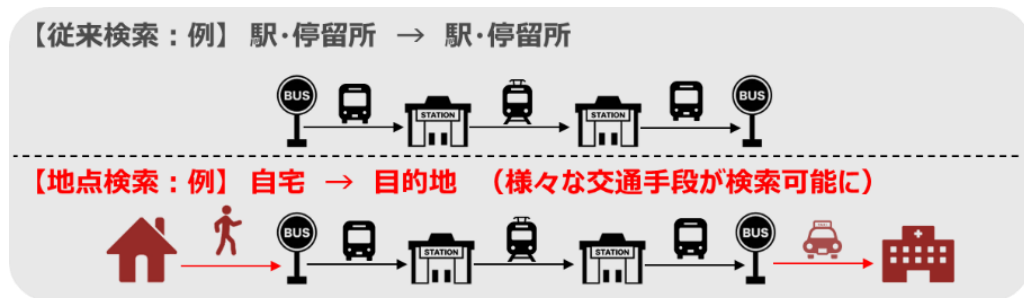
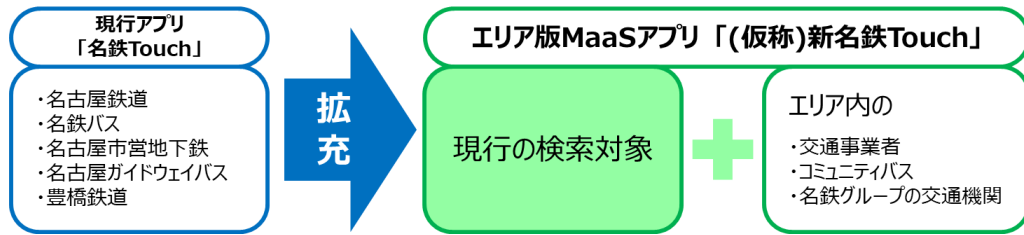
<エリア版 MaaS アプリ「(仮称)新名鉄 Touch」の展開イメージ>



(1)主な実装予定機能

①地点間検索・マルチモーダル検索機能

・検索対象となる交通機関を拡充するとともに、鉄道やバスに加え、徒歩やタクシー等の移動手段が加わり、任意の出発地から目的地までの最適な交通手段の検索を無料でできるようにします。



※地点検索では住所やランドマーク、お祭り等のイベント会場など駅や停留所以外のスポット検索も可能にします。

②デジタルチケット機能

・バスの1日乗車券やエリア内の観光施設の入園券・入場券などのデジタル化などにより、スマートフォンからの予約・決済ができるようになります。

③リアルタイム情報の提供

・アプリからの「運行情報の見える化」に向けて、名鉄電車の地図式の列車運行情報および列車位置情報を提供します。

④UI/UX(ユーザーインターフェイス/ユーザー体験)の改善

・TOP画面から必要な情報に素早くアクセスできるなど、お客さま目線に立った「利用しやすさ・使い勝手を向上」します。

(2)サービス開始予定時期

2022年3月に初期リリース予定 ※2022年度以降に機能ごとに順次リリースを計画中

<主な実装予定機能>

- 2022年3月
 - ・地点検索・マルチモーダル検索
 - ・デジタルチケット
 - ・リアルタイム情報
 - ・UI/UX改善
- 2022年度以降
 - ・地域交通や生活に根差したサービスとの連携
 - ・マルチモーダル検索対象の更なる拡大
 - などを予定

以上

本件は、名鉄グループ中期経営計画「Turn-Over2023 ～反転攻勢に向けて～」(2021～2023年度)の重点テーマに掲げる「交通事業の構造改革」および「DXの推進」の一環として取り組むものです。

【参考】開発中の画面イメージ

※アプリリリース時には今回の画面イメージと実物が異なる場合があります。



TOP 画面

※TOP画面にお客さまご自身が設定された「マイ駅」を表示し、必要な情報へ素早くアクセスできるようにすることで、お客さまの利用しやすさ・使い勝手の向上を目指します。



デジタルチケット

※キャッシュレス・非接触で予約・決済し、バス事業者の1日乗車券や観光施設の入場券などとして使用できるようにします。